

## おむすびのメッセージ

吳市立広小学校 三年 相原 直

毎朝、王子やきと、お米のたけるにおいで  
目がさめる。ぼくのお兄ちゃんは、四月から  
中学生。中学校のお昼ごはんは、お弁当だ。  
小学生のぼくは、学校の給食。ぼくは給食も  
大好きだけど、お母さんのお弁当を毎日持  
て、いけるお兄ちゃんのことがうらやましい。  
ぼくにもお弁当の日がある。ぼくは剣道を  
習っている。その試合の日には、ぼくもお弁  
当。剣道の試合は休けい時間がはっきりしな  
いので、おむすび弁当だ。ぼくは、このお弁  
当がすごく楽しみ。お母さんに、「そり、  
今日のおむすびの中身は」。  
と聞くと、お母さんはがなうず、「ひみつ」。  
と言ふ。ぼくは、中身を当ててやううと思  
いいろいろ言つてみる。お母さんは二ツコリわ  
らうだけ教えてくれない。ぼくは、何度も  
中身を聞くけれど、ひみつだから楽しい。自

分の試合が終わったら、お風ごはんの時間。

試合に勝った後のおむすびは、いつもよりおいしい。試合に負けた後のおむすびは悲しくなるけど、食べるとがんばるぞと元気が出る。おむすびなのにお母さんのメツセージが伝わってくる。おむすびの中身は、にたまご・焼肉・鮭・ワナマヨキムチ・そぼろ・梅おかか。食べたことのない初めての具も多い。でもどれもすごくおいしい。ぼくは、おむすびを食べた後、お母さんにその日のおむすびの名前を聞く。お母さんは、「勝ちつまむすび」、「くりむすび」、「ばくだんむすび」、「くやしいなくなむすび」。いろいろな名前をつける。ぼくは、お母さんのメツセージの二回目をしきり受けとり、元気が出る。

おむすびでおなかも心もいっぽいになる。中身のつま、たほくだけのお風ごはん。これからも、このおむすび弁当とともに、剣道も心も強くなりたい。